



つなぐ



第37号
令和6年6月発行
気仙沼市立病院

ご挨拶



気仙沼市立病院 院長 大友 浩志

気仙沼は高齢化率が県内でも進んでいる地域です。

医療ニーズも多岐にわたってきております。急性期医療を堅持しながら、亜急性期、回復期など、気仙沼市立病院が担わなければならない医療はさらに増加してきております。

また精神科を除き、当地域での入院病床は、そのほとんどが当院のみとなりました。急性期、亜急性期に目途が立った患者さんが在宅に戻れないことがないようにリハビリを強化しつつ総合患者支援センター総力を挙げて努力しておりますが思うように自宅退院が難しい患者さんが一定の割合存在するのも事実です。その方々の受け皿をいかに確保し満足していただけるように総合患者支援センターを中心に病院一丸となり取り組んでおりますが、当地域だけではなくどの地域でも、療養病床の確保が難しいのが現状です。気仙沼市、介護施設、訪問看護、訪問診療の皆様と密に連絡を取り連携しこの難局を越えていきたいと考えています。気仙沼医療圏の転院が難しい状況の時は医療圏を越えた転院も非常に残念ですがやむを得ないと考えており、皆様のご理解をいただきたく存じます。

とはいえ入院患者さんにとっては在宅復帰が一番であることは間違いありません。本吉病院との合併で訪問診療のノウハウも利用できる状況になりました。将来的には気仙沼全域に医師会の先生方と協力して訪問診療を広げていければ少なからず在宅復帰につながるのではないかと期待しています。

また当院は予約制をとっております。ご紹介していただく際にはお手数でも総合患者支援センターを通していただければ待ち時間が少なくなり、診察前における患者さんの状態の把握ができ医療の質の向上につながり患者さんの満足度も上がると思われれます。

これからも皆様のご支援、ご指導をいただきながら充実した総合患者支援センターを作り上げたいと考えております。よろしく申し上げます。

気仙沼市立病院 理念・基本方針

1 理念

患者さん第一の医療を行います

2 基本方針

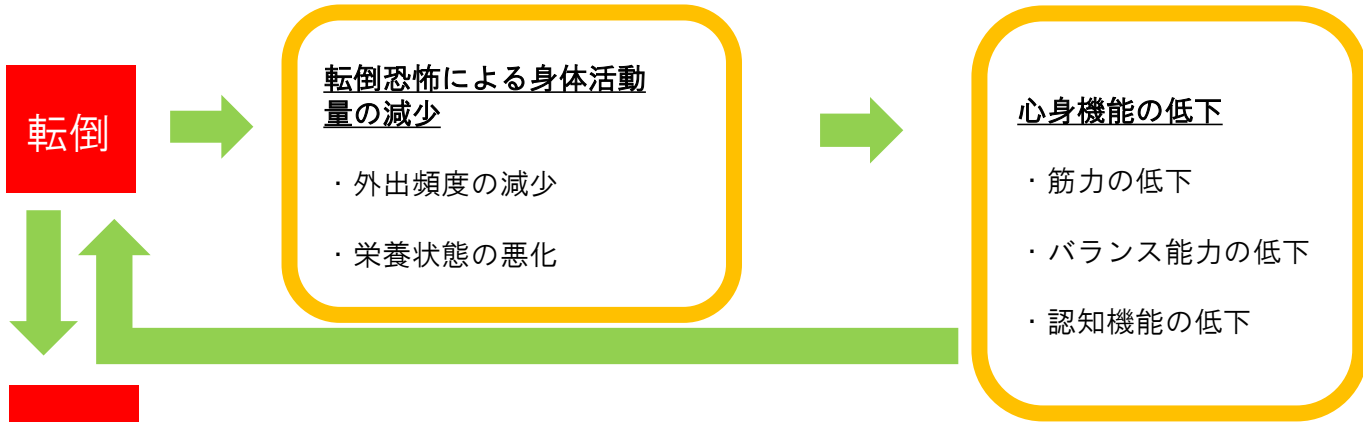
- (1) 患者さんの権利を守り、信頼される医療を目指します
- (2) 新しい医療を取り入れ、安全・安心で質の高い医療を提供します
- (3) 地域包括ケアシステムの構築を推進し、市民の皆様とともに地域医療を守っていきます
- (4) 健全な病院運営に努めます

リハビリテーション室より 『転倒予防』のトレーニング



●転倒から始まる負の循環

- ・転倒や骨折は直接的に要介護の要因となるだけでなく、様々な制約を招き入れてしまいます。



みしおね
気仙沼市のご当地体操「海潮音体操」もおすすめてです！

●やっておきたい運動

- ・転倒予防には筋力とバランス能力の向上、身体と頭を同時に動かす運動も効果的です。
- ・膝や腰に痛みがある場合は無理せず、医師やリハビリスタッフに相談してください。

①椅子からの立ち座り運動

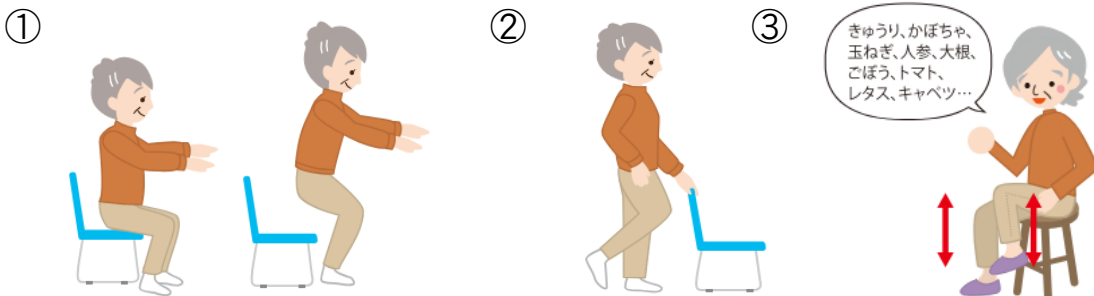
- ・太ももの筋肉を強化できます。立つときは素早く、座るときはゆっくりと行いましょう。
- ・10回を1セットとして、2～3セット行いましょう。

②片脚立ち運動

- ・バランス能力を向上させます。ふらつく場合は支持物に掴まって行いましょう。
- ・10秒間を1セットとして、左右それぞれ4～5セットずつ行いましょう。

③足踏み語想起運動

- ・なるべく速く足踏みしたまま、「野菜の名前」のようにお題を決めて連続して言葉を発しましょう。
- ・30秒間を1セットとして、お題を変更しながら2～3セット行いましょう。



【画像引用】
日本理学療法士協会
理学療法ハンドブック
シリーズ18 転倒予防

総合患者支援センター—主な業務

総合患者支援センターは、患者さんの外来受診・入院から退院まで総合的に支援する部門です。

(1) 医療機関との連絡・調整

かかりつけ医や他医療機関からの外来予約受付や転院調整を行います。
また、他医療機関等へご紹介・転院に係る連絡調整を行います。

(2) 入院患者様の退院に向けた支援

入院早期から退院後の生活を安心して過ごしていただくために、病棟ごとに退院支援のスタッフを配置しています。利用可能な制度や専門な窓口のご紹介など、地域医療・福祉・行政機関及び院内外の多職種と連携して医療的側面と社会的側面の双方から支援を行います。

気仙沼市観光
キャラクター
「海の子ホヤぼーや」



(3) 医療相談

病気やけがによる不安・医療費生活費・年金や労災・社会保障制度の活用に関することなど、様々なご相談に応じています。

要予約:平日9:00~17:00
連絡先:0226-22-7100
(内線5243-5229)

令和5年度の業務実績

●前方支援業務

(1) 他院への紹介件数

令和5年度 855件 (+37件)

令和4年度 818件

主な紹介先の医療機関としては、東北大学病院や石巻赤十字病院などがあります。

(2) 紹介受入件数

令和5年度 3,353件/月平均 279件

令和4年度 3,370件/月平均 280件

前年度との比較では、年間17件の減、月平均1件の減となりました。今年度は前年度を上回るよう、広報等で当院の周知徹底を図りたいと思います。

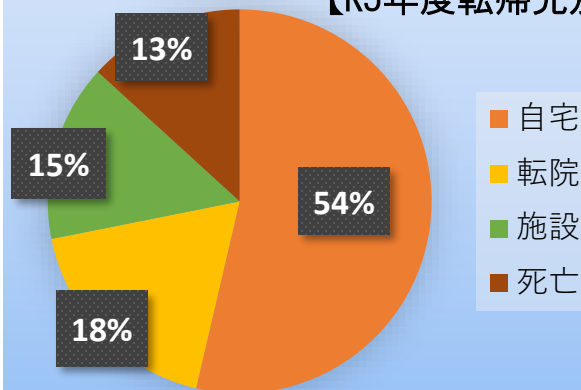
●退院支援業務

●退院支援者数

令和5年度 41,784件 (+4,803件)

令和4年度 36,981件

【R5年度転帰先別割合】



●医療相談

当院では医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）2名と看護師1名で医療相談を受け付けており、必要時は医師等のスタッフとも情報共有し、支援を行っております。

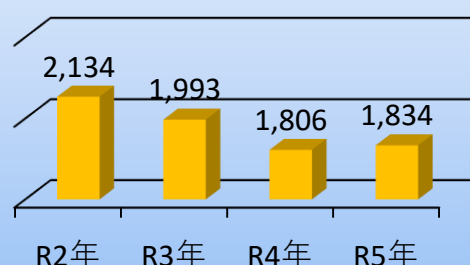
●相談件数

令和5年度 1,834件 / 月平均 152件

令和4年度 1,806件 / 月平均 150件

患者様やご家族様の様々な不安やお悩みを解決に向けてお手伝いいたします。お気軽にご相談ください！

【R5年度別 相談件数】 単位:件



令和6年度スタッフを紹介します！

所長：星 達也（副院長）

副所長：小野寺 るみ子（事務）

【入退院支援部門】

専従：小山 よし子（看護師）

3階西病棟：三浦 瑞貴（社会福祉士）

4階東病棟：亀卦川 葉（看護師）

4階西病棟：小野寺 秀幸（社会福祉士）

伊藤 芳美（看護師）

5階東病棟：伊藤 芳美（看護師）

5階西病棟：小野寺 秀幸（社会福祉士）

三浦 和（社会福祉士）

6階東病棟：三浦 和（社会福祉士）

三浦 瑞貴（社会福祉士）

6階西病棟：岩渕 巧（社会福祉士）

【入院前支援部門】

専従：佐藤 まゆみ（看護師）★

【医療相談・がんサポート部門】

戸羽 敦子（社会福祉士）

佐藤 惇貴（社会福祉士）★

神山 ひろみ（看護師）

【診療予約・紹介部門】

西野 砂那（事務）★

菅野 順子（事務）

小野寺 恵美（事務）

どうぞよろしくお願ひします！

★：新スタッフ

お知らせ

◆受診される際は事前予約をお願いします！

原則として医療機関を通じて事前予約をしていただくこととしております。

①診療予約申込書 ②患者診療情報提供書 ③検査データ（必要時）

以上の必要書類を添えて当センターまでFAXでお申込みください。

◆がんサロン「hinami（ひなみ）」をぜひご利用ください！

がんのお悩みについて気軽に話し合いませんか？

●日時：毎月第2金曜日 午後2時～4時

●場所：気仙沼市立病院1階 がんサロン室

●対象：婦人科系がん、乳がんの患者さん及びご家族の方

（当院に通院している方、本市在住で通院したことがある方）

お問い合わせ先：がん相談支援センター ※総合患者支援センター内

TEL 0226-22-7100（病院代表）内線 5229、5243

★気仙沼市立病院★

〒988-0181 宮城県気仙沼市赤岩杉ノ沢8番地2

TEL：0226-22-7100（病院代表）

◆総合患者支援センター◆

TEL：0226-22-7178（前方支援部門） / FAX：0226-24-2328

0226-22-8861（入退院支援部門）